NEWS LETTER FOR STUDENTS NO.2

全国看護学生の皆様へ

日本カトリック看護協会会長　清水　裕子
国際カトリック看護・医療社会従事者協会
(CICIAMS)アジア地域会長

2025 年から、日本のカトリック看護師養成機関で学んでおられる看護学生の皆様に、日本カトリック看護協会（JCNA）からニュースレターを発行しています。今回、第２号をお送りいたします。

４月から看護学生になられた皆様、大学院生になられた皆様、ご入学おめでとうございます。また、進級された皆様にもお祝いを申し上げます。

さて、この４月から、NHK の「朝ドラ」で、「風、薫る」という看護師養成のドラマが始まりました。昭和36 年に第１作「娘と私」に始まり、主に女性をヒロインとして展開するドラマが 65 年間で 114 作続き、その 114 作目に看護師が主役となりました。このドラマの主役となったのは、難関女子中学校で知られる女子学院の前身の一つである桜井女学校にあった看護婦養成所の学生、大関ちか氏がモデルです。彼女は、１期生の一人であり、日本のナイチンゲールとも呼ばれて、看護婦を職業人とするために働いたパイオニアでもありました。

皆さんは、このドラマで描かれている「看護とは何か」という問いを考えたことはありますか。ドラマのある回での一コマに、英国人の看護教員が、主人公、一ノ瀬りんにこう問いかけています。「あなたは患者に感謝してほしかったのではないですか、ありがとうと言ってほしかったのではないですか」と。加えて、「患者が回復することが望みではなかったのですか」とも述べています。

わたしども世代の看護師たちは、多くの方々がこのような同じ問いを受けながら、看護を学んできたように思います。「ナイチンゲール覚書」によってです。そう思えば、明治から 100 年間、看護教育の本質的なあり方や「看護」の社会的評価はあまり変わらなかったのかもしれません。

昭和 30 年代は女性が労働力として働くようになった時代でした。それから 2000 年を迎え、一層女性の労働力が重要となり、女性活躍推進法が成立し、看護師も学士教育が増え、博士課程で学ぶ看護学生が増え、徐々に看護学の独立性や専門職業として認知されるようになりました。しかし、これも時代の途上にあります。

国立大学では、相変わらず医学部看護学科であり、看護学部としての独立が遅れており、看護師の看護教育管理者は未だ少ない状況です。ドラマを見ている方々が、これは明治時代の話なのだと感じているかもしれませんが、日本での女性の社会的評価はまだまだ低く、ジェンダーギャップ指数は、2025 には 0.666 と世界 118 位です。看護師免許保有者 96 万人の女性の一大職業でありながら、女性のヒロインとして 114 作目に登場したというのは、あらゆる日本における看護師の位置を示しているといえます。

皆様の世代が、次の時代の看護師の社会的、職業的自立性や専門性を一層高めてくださることを願っています。

JCNA の国内活動　JCNA ニュースレター第 41 号から

2025 年 9 月 14－15 日に第 63 回 JCNA 全国大会が福岡県久留米市の聖マリア病院で開催されました。

大会ミサが、雪の聖母聖堂（図１）で、教区長ヨゼフ・アベイヤ司教の主司式、スルピス森山信三大分教区長の共同司式に 9 名の全国顧問司祭団が加わり、荘厳の中にも厳かな雰囲気で行われました。

雪の聖母聖堂は、福岡市大名町にある大名町教会に、1896年、主任司祭E・ベレール神父（パリ外国宣教会）出身のパリ「聖母の勝利」教会の司祭・信徒の寄付によって完成した赤レンガ聖堂です。この聖堂は、1927年福岡司教区が独立するとともに、司教座聖堂となりました。しかし、1938年には、手狭となって新しい聖堂が新築され、1984年、赤レンガ聖堂は解体されて、久留米聖マリア病院付属聖堂として復活しました。その聖堂での大会ミサは、静謐な雰囲気がありました（図2)。

図1　雪の聖母聖堂　　　図2　大会ミサ

大会の基調講演「いのちとは何か―カトリック教会の立場から」は、大分司教区教区長スルピス森山信三司教により、行われました。旧約聖書における「いのち」は、ネフェシュといい、「のど」を意味する。ネフェシュは魂とも訳され､「渇き」や「欲望」に転ずる。聖書では、「いのち」とも訳される。人間をネフェシュと訳するとき､生きることに渇望する人間を意味する。この渇きは神を見いだすことで癒やされる。このいのちの永遠は､完全な満足を感じる瞬間のようなもので、その時、全体が私たちを包み私たちも全体を包み､過去も未来ももはや無くなる｡この時完全な「いのち」といえる､との教皇ベネディクト 16 世の言葉を回勅「希望による救い」から紹介された。

図 3　大会に参加された司教、顧問司祭、会員たち

午後は、パネルディスカッションが行われカトリック看護の臨床体験の発表と意見交換が行われました。発表は、「いのちの光を灯す奉仕者～ホスピスケアにおける「小さな人々の中の神」との出会い」聖マリア病院ホスピス病棟緩和ケア認定看護師から、「子どもにとっての最善と家族の意思決定を支える―保健医療従事者の使命と役割」聖マリア病院こども家庭医療センター看護師長から、「いつくしみの看護―私が歩んできた看護を通して」退職看護師である日本カトリック看護協会福岡支部会員からの 3 題があり、指定討論者の聖マリア学院大学教授、ケネス・G・スレイマン師によって討論が行われました。

閉会式では、清水会長からボランティアの方々への証明書が授与されました。学生ボランティアには基調講演の前に、閉会後には、職員ボランティアに粗品と証明書が渡され、感謝が伝えられた。

図4　学生ボランティアへ感謝状贈呈

図 5　雪の聖母聖堂脇ルルド

図 6　支部からのお土産

世界のカトリック看護師達

会長マレーシア黙想会訪問　2025 年 8 月 30 日-9 月 2 日

CICIAMS 教会補佐のケネス・G・スレイマン師は、マレーシアカトリック看護協会の黙想会指導の依頼を受け、アジア地域会長の清水会長と共にマレーシアを訪問しました。

早朝 6:00 からの祈りに始まり、22:00 までの 4 日間の黙想会は、東南アジア最高峰のボルネオ島キナバル山麓近くの質素な黙想の家で開催されました。日本とマレーシアの交流の絆を深めることができました。

(左写真)コタキナバル大司教区の Datuk John Wong 大司教(ケン神父の右)と本部顧問司祭 Mark Noel Bonchoi 神父(清水の左)共に。
(右写真)赤いシャツがマレーシアカトリック看護協会会長メリー氏、左奥がマーク顧問司祭。

第 2 回国際パストラルケア会議　2025 年 10 月 2-4 日

○第二回国際会議参加者への教皇レオ 14 世の講話／クレメンタインホール:2025 年 10 月 3 日(金)(英語版)

＜冒頭＞「皆さんを歓迎し、いのち信徒家族省が主催する高齢者司牧ケアに関する第 2 回国際会議にお越しいただき、お会いできてうれしく思います。会議のテーマである「あなたたちの長老たちは夢を見るであろう」(ヨエル書 2 章 28 節参照)は、フランシスコ教皇が敬愛する預言者ヨエルの言葉を思い起こさせます。」と 15 分間講話をされ集合写真に入られました。

バチカン教皇庁「いのち・信徒・家庭省」の高齢者部門が主催する第 2 回国際高齢者パストラルケア会議が、テーマ「高齢者は夢をみるであろう」と題して、2025 年 10 月 2 日～4 日まで、ローマのイエズス会総本部 Casa Generalizia della Compagnia di Gesú で開催され、65 カ国の各国司教協議会の代表者が参加し

図 3　メッセージの後のレオ 14 世教皇との集合写真（黄色い〇が清水会長）

図 1　65 カ国の参加者と共にイエズス会総本部会議場にて

ました。公式言語は、イタリア語に加えて英語、フランス語、スペイン語で、それぞれ同時通訳が行われました。　本会清水会長は、日本カトリック司教協議会の要請により、上記会議に出席を依頼され、参加しました。

これからの予定
第 64 回 JCNA 全国大会　9 月 20－21 日

大会概要（参加費　8,000 円）

①9 月 20 日（日）

12:30 受付　カトリックセンター(梅田教会 1 階看板、3 階聖堂前受付）本部役員 3 名、支部 2 名

非会員別途 3,000 円。氏名、住所、電話番号、メールアドレス要登録。申込はポスターQR コードで。

13:00-15:00 スピリチュアルケア研究会第 1 回セミナー

カトリックセンター 4 階会議室、終了後、修了証発行

②9 月 20 日（日）JCNA 看護学生交流セッション

16:30　　カトリックセンター(梅田教会 1 階看板、2 階受付)参加費無料

17:00-17:50 カトリックセンター(2 階ラウンジ) 終了後、参加証発行

③9 月 21 日（月）大会 2 日目

8:30　　　カトリックセンター(梅田教会 1 階看板、3 階聖堂前受付）

9:00-9:40　開会式（ガイダンス、会員の祈り、会長挨拶、教区長挨拶、大会長挨拶、会歌）

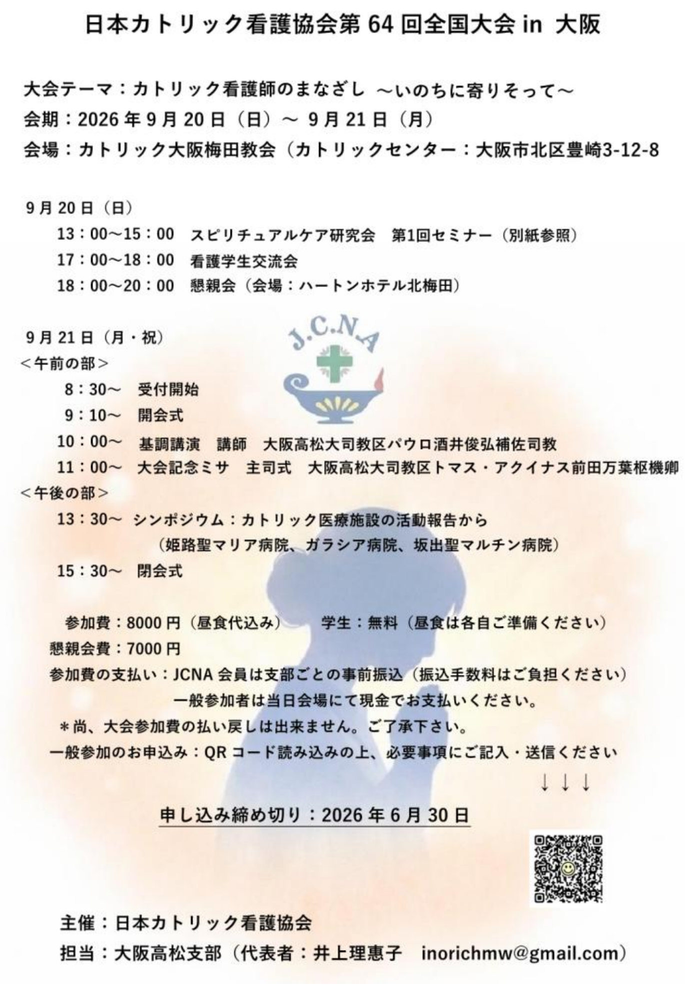
10:00-10:50 基調講演（パウロ酒井俊弘補佐司教）

11:00-11:50 大会ミサ（トマス・アクイナス前田万葉枢機卿、補佐司教顧問司祭団共同司式）

ランチョンセミナー：サックス演奏、うーこんどの登場、交流の催し、CICIAMS 世界大会発表演題紹介

13:30-15:30 シンポジウム（姫路聖マリア、ガラシア、聖マルチン病院から）および分かち合い

16:00　閉会式



日本カトリック看護協会第 64 回全国大会 in 大阪

大会テーマ：カトリック看護師のまなざし ～いのちに寄りそって～
会期：2026 年 9 月 20 日（日）～ 9 月 21 日（月）
会場：カトリック大阪梅田教会（カトリックセンター：大阪市北区豊崎3-12-8

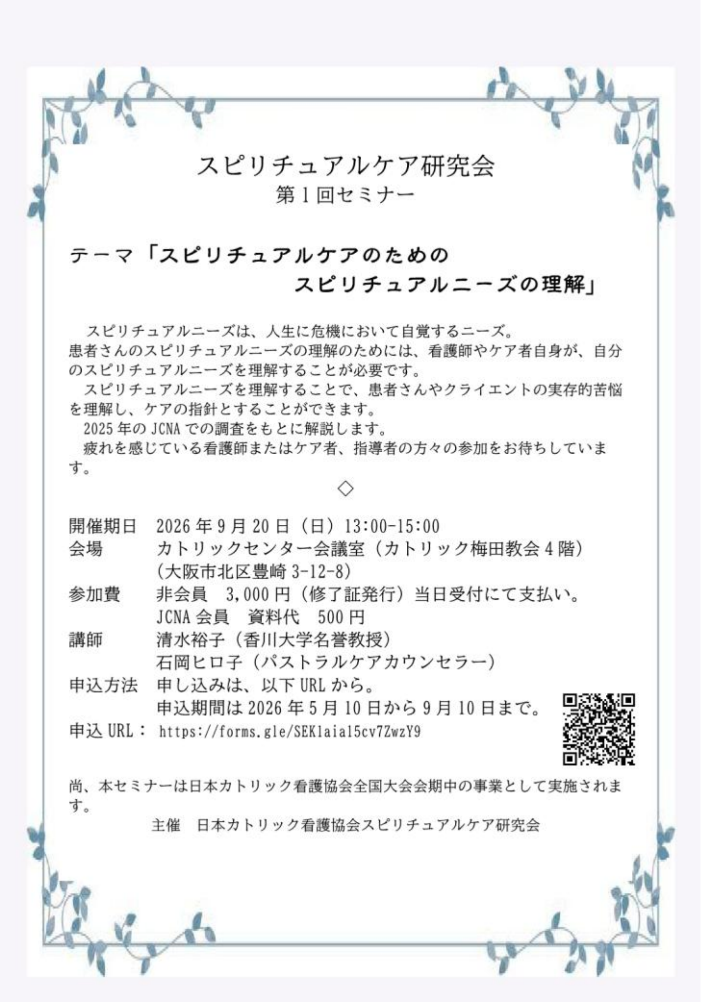
9 月 20 日（日）
13：00～15：00　スピリチュアルケア研究会　第1回セミナー（別紙参照）
17：00～18：00　看護学生交流会
18：00～20：00　懇親会（会場：ハートンホテル北梅田）

9 月 21 日（月・祝）
＜午前の部＞
8：30～　受付開始
9：10～　開会式
10：00～　基調講演　講師　大阪高松大司教区パウロ酒井俊弘補佐司教
11：00～　大会記念ミサ　主司式　大阪高松大司教区トマス・アクイナス前田万葉枢機卿
＜午後の部＞
13：30～　シンポジウム：カトリック医療施設の活動報告から
（姫路聖マリア病院、ガラシア病院、坂出聖マルチン病院）
15：30～　閉会式

参加費：8000 円（昼食代込み）　学生：無料（昼食は各自ご準備ください）
懇親会費：7000 円
参加費の支払い：JCNA 会員は支部ごとの事前振込（振込手数料はご負担ください）
一般参加者は当日会場にて現金でお支払いください。
＊尚、大会参加費の払い戻しは出来ません。ご了承下さい。
一般参加のお申込み：QR コード読み込みの上、必要事項にご記入・送信ください
↓↓↓

申し込み締め切り：2026 年 6 月 30 日

主催：日本カトリック看護協会
担当：大阪高松支部（代表者：井上理恵子　inorichmw@gmail.com）



スピリチュアルケア研究会
第 1 回セミナー

テーマ「スピリチュアルケアのための
スピリチュアルニーズの理解」

スピリチュアルニーズは、人生に危機において自覚するニーズ。
患者さんのスピリチュアルニーズの理解のためには、看護師やケア者自身が、自分のスピリチュアルニーズを理解することが必要です。
スピリチュアルニーズを理解することで、患者さんやクライエントの実存的苦悩を理解し、ケアの指針とすることができます。
2025 年の JCNA での調査をもとに解説します。
疲れを感じている看護師またはケア者、指導者の方々の参加をお待ちしています。

◇

開催期日　2026 年 9 月 20 日（日）13:00-15:00
会場　カトリックセンター会議室（カトリック梅田教会 4 階）
（大阪市北区豊崎 3-12-8）
参加費　非会員　3,000 円（修了証発行）当日受付にて支払い。
JCNA 会員　資料代　500 円
講師　清水裕子（香川大学名誉教授）
石岡ヒロ子（パストラルケアカウンセラー）
申込方法　申し込みは、以下 URL から。
申込期間は 2026 年 5 月 10 日から 9 月 10 日まで。
申込 URL：https://forms.gle/SEKlaia15cv7ZwzY9

尚、本セミナーは日本カトリック看護協会全国大会会期中の事業として実施されます。
主催　日本カトリック看護協会スピリチュアルケア研究会

〇アクセス

ｉ)空港からのアクセス

大阪国際空港阪急電鉄：宝塚線急行一駅の「蛍池」乗換え、梅田行で梅田下車。徒歩 10 分程度。三番街を通って大阪芸術劇場方面へ。芸術劇場そば。モノレール門真行、千里中央で御堂筋線に。「中津」下車。徒歩 7-8 分。

ii)新幹線からのアクセス

新大阪駅新幹線ホームから地下鉄御堂筋線 6 分で梅田駅下車。

iii)JR での移動の場合

「大阪市内」行のチケットではそのまま JR 大阪駅迄利用可能。JR 大阪駅地下通路を通って阪急梅田駅構内で地上。三番街を通り芸術劇場方面へ。

iv)駐車場（専用駐車場あり）

◆参加を希望される方は、本部事務局までご連絡ください。
E-mail: jcna_secretariat @googlegroups.com

第 38 回医療関連学生セミナー　2026 年 10 月上智大学会場に

日本カトリック医師会が主催する医療関連学生セミナーは、JCNA と連携する事業です。第 37 回医療関連学生セミナーは、昨年、上智大学で開催され、テーマ「私はあなたを母の胎内に形づくる前から、あなたを知っていた(エレミヤ 1:5)」のもと、5 人の医学生と 2 名の研修医が参加した。参加学生確保の観点から、2026 年度も上智大学を会場として開催の予定である。

コロナ禍前は、看護学生も参加したが、コロナ禍の休会を経て、**再度、看護学生への参加を呼び掛けている。**

◆参加を希望される方は、本部事務局までご連絡ください。E-mail: jcna_secretariat @googlegroups.com

第 22 回 CICIAMS 世界大会 2026 年 11 月 11 日-13 日(14 日 OP)

JCNA が所属する、国際カトリック看護協会 CICIAMS は、第 22 回世界大会を開催します。

・テーマ：Human Dignity and Peace:Time for Global Transformation　人間の尊厳と平和：地球規模の変革の時

・サブテーマ

ｉ： 医療の神学を応用するカトリック看護師の視点

ii： 受胎から尊厳ある死まで、カトリック看護師が人間の価値を促進する力をつける

iii： 多様性の中の統一 – 新たな境地と多文化の世界におけるカトリック看護師であること

・会場：タイ国、バンコク市、Baan Phu Wan Pastoral Training Center, Tha Kham, Nakornpathom, Thailand

・大会日程：11 月 9 日理事会。理事会は、理事のみの参加であり、日本からケン・スレイマン CICIAMS 教会補佐・JCNA 本部 CICIAMS 担当・聖マリア学院看護学部教授と、清水裕子 CICIAMS 理事・アジア地域会長・JCNA 会長が出席する予定である。

11 月 10 日：総会（理事と各国会長の評議員のみ。日本からの参加者同上)。

11 月 11 日～13 日：全参加者対象の大会。日本からは、現在 15 名が予定されている。

詳細は、https://ciciams2026.com/registration/をご覧ください。

参加者は、アフリカから、ヨーロッパから、アメリカから、アジアから会員たちが参加します。アジアからは既に 60 名以上の参加者が申し込んでいます。

・日本からの予定発表演題

ｉ)「日本における臨床パストラルケアの普及と役割」石岡ヒロ子・水浦ふじ子・清水裕子

ii)「東日本大震災における複合災害の被災者のリカバリー過程」　根本摩利

iii)「マリアの宣教者フランシスコ修道会が伝えたカトリック看護」佐藤朋子・辻野美智留、本宿美砂子・佐藤昇子

iv)「認知症をもつ高齢修道女のケアガイドの作成」　得居みのり

ｖ)「日本におけるキリスト教聖職者の周産期から乳児期の死別におけるスピリチュアルケアの捉え方と実践」前田栄美・中込さと子

vi)「ハンセン病患者に生涯を捧げたカトリック教徒の看護師、井深八重」小沼華子・稲葉景・清水裕子

世界のカトリック看護師たちと交流したい方は、どうぞご参加をご検討ください。

・スケジュールは以下の通りです。

Date	9.00-12.00	12.00-13.00	13.00-16.00	17.00	18.00
09/11	理事会	Lunch	理事会	ミサ	Dinner
10/11	総会General Council Meeting	Lunch	理事会	ミサ	Dinner

8.00-8.45	8.45-10.15	10.15-30	10.30-12.00	12.00-13.30	13.30-15.00	15.00-30	15.30-17.00	18.00
11/11	見るべき時：カトリック看護師が考える人間の尊厳と平和							
開会ミサ	開会式 国旗パレード	Break	基調講演1：(45分) カトリック看護師のスピリチュアリティの側面：人間の尊厳と平和について 基調講演2：(45分) 医療神学の応用におけるカトリック看護師の視点	Lunch	シンポジウム1： 家庭や職場における共通の人間尊厳と平和の問題： (家庭内暴力、患者の権利侵害、ハラスメントなど)	Break	シンポジウム2:地域社会および国家レベルにおける人間の尊厳と平和の問題の認識（ヘイトスピーチ、排除、移民問題など）	Dinner

12/11	見極めるべき時:カトリックの看護師が様々な環境で人間の尊厳と平和を促進できるよう支援する							
8.00-8.45	8.45-10.15	Break 15 m.	10.30-12.00	12.00-13.30	13.30-15.00	Break 30 m.	15.30-17.00	18.00
Mass	振り返りと考察（15分） 全体会議1: カトリック看護師が、受胎から尊厳ある死に至るまで、人間の価値観を尊重できるよう支援する		全体会議2: 人間の尊厳の促進、予防、回復に不可欠な技能と技術。	Lunch	スキル構築セッション:人間の尊厳と平和を取り戻すための必須スキル 第1室:思考力と内省力:識別力、建設的な助言とフィードバック 第2室:信頼構築力:対話、仲介、共通理解の獲得 第3室:コミュニケーション力:傾聴、共感的コミュニケーションなど 第4室:霊的強化力：聖性と文化の調和、カトリック看護師のケア		論文発表 （4つの並行会場） ポスター発表(1つの会場)	文化交流会食

13/11	変革の時：多様化する社会において人間の尊厳を守るためのカトリック看護師の団結							
8.00-8.45	8.45-10.15	Break15m.	10.30-12.00	12.00-13.30	13.30-15.00	Break30m	15.30-17.00	18.00
Mass	要約と振り返り（15分） パネルディスカッション3 (60分) 多様な社会における人間の尊厳を守るためのカトリック看護師の団結：健康格差の解消に向けた取り組み。		Plenary 3: 人工知能：カトリックの視点から見た看護における新たなフロンティア	Lunch	地域グループディスカッション 「多様性の中の統一」へのコミットメントを具体化する。 まとめ： 持ち帰りメッセージ		CICIAMS XXII： 行動への呼びかけ 閉会式	Dinner

◆参加を希望される方は、本部事務局までご連絡ください。E-mail: jcna_secretariat @googlegroups.com
　尚、登録料（参加費、宿泊費、食費込み）は、2026 年 6 月 30 日まで 650 ドル、9 月 30 日までは 700 ドルです。またオプショナルツアーは 14 日終日で 100 ドル。入国時の空港から会場までは約 1 時間かかります。セダン(60 ドル)やバン(100 ドル)の申し込みが可能です。

◆You Tube で動画配信中
　https://www.youtube.com/watch?v=cMDarqehIiw　→

発行日	2026 年 5 月 20 日	編集後記
発行責任者	清水 裕子	学生さん向けに情報を発信しました。いかがでしょうか。看護学生は、本会の準会員になることができます。カトリック看護を深めたい方は JCNA 本部事務局までお問い合わせください。
編集	日本カトリック看護協会本部役員会	
本部事務局	jcna_secretariat @googlegroups.com	